

高津区の福祉

今号のトピックス

- ・ボッチャをやろう 2
- ・移動動物園など 3
- ・幼児安全法短期講習会 3
- ・クリスマス会 4
- ・300人が車いすダンス 4

おあしす

希望の泉

第58号



(社協の会章)

令和6年3月1日

発行 川崎市高津区社会福祉協議会
 川崎市高津区溝口1-6-10 てくのかわさき3階 福祉パルたかつ内
 連絡先 TEL 044-812-5500 FAX 044-812-3549
<https://takatsuku-shakyo.jp/>
 E-MAIL: info@takatsukushakyo.com
 発行人 富田 誠 (高津区社会福祉協議会会長)
 編集人 おあしす編集委員会



写真は町会50周年記念の集合写真(平成25年撮影)

高津区社会福祉協議会も 久地東町会もみんな仲良しです

久地東町会会長 甘利 治明

久地東子ども会、久地東長寿会との絆、そのベースとなるのが久地東町会五百五十五世帯の会員、皆さんの活動です。

設立は昭和三十六年四月、多摩川に沿って平瀬川両岸の住宅街と工業地帯を抱え、河川敷の自然豊かな地域ですが、約六十年の歴史は諸先輩方の活動の賜物でもあります。昭和四十年頃には手作りの防犯灯を設置し、平瀬川と多摩川合流部では大雨の度に手作業で土砂の流出を防ぎ、通学児童の安全の為に幹線道路の交通整理をしました。

令和元年東日本台風では平瀬川が越水し、多くの世帯が被災をしましたが、高津区社会福祉協議会の皆さんからもご支援をいただき感謝の念に堪えません。その復興の最中にコロナウイルス感染症の流行が始まり、活動自粛を余儀なくされ、今年度はコロナ明けでの再スタートを切りました。

個々に生活や思いがありますが、命の重さ人の尊厳には全く違いがありません。老若男女問わず安心して日々健やかに過ごせる安全な地域の為に活動される民生委員児童委員の皆様へ感謝を申し上げます。社会福祉協議会の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

いこいの家で「ボッチャ」をやろう

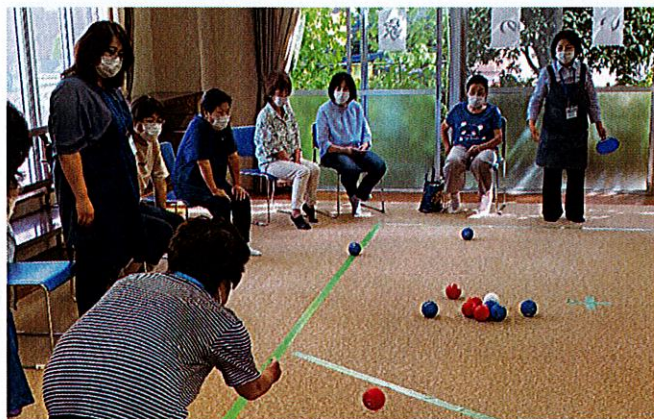
現在、4館（東高津、末長、子母口、くじ）で実施中

高津区社会福祉協議会では、昨年7月から東高津いこいの家で「ボッチャ」を始めたところ、利用者から大変好評を得ることが出来ました。このため、10月から「末長」、「子母口」、「くじ」のいこいの家3館でも体験会を実施し、こちらも多くの参加者が集まったことから、この4館で月2回の定例開催を行うこととなりました。

「ボッチャ」は、障害者スポーツとしての認知度が高いのですが、高齢者でも楽しく行える活動で、上手く投げられた時の喜びを表現したり、声を出して他利用者を応援したり、高齢者が生き生きと活動出来る場として、心身の健康増進につなげてもらうことを狙って実施しています。

実施にあたっては、参加者の皆さんがボッチャの楽しみ方を理解できるよう、ゲームの進め方やルール、ボールの投げ方、得点の教え方などを説明し、4チームでのゲームを楽しんでもらっています。

また、「ボッチャ」のボールを活用して、こども文化センターなどとの多世代交流も実施をはじめると、いこいの家の新たな活動として浸透しています。



クリスマスケーキをプレゼント

高津区社会福祉協議会は12月23、24日、高津区在住で生活に困窮し小学生以下のお子さんがある90世帯にクリスマスケーキをプレゼントしました。

赤い羽根共同募金・年末たすけあい運動 皆さんご協力ありがとうございました

今年度の赤い羽根共同募金には2月1日時点で約1000万円、年末たすけあい運動には約700万円集まっています。



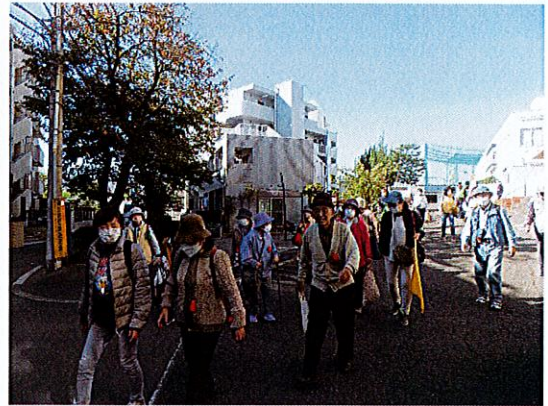
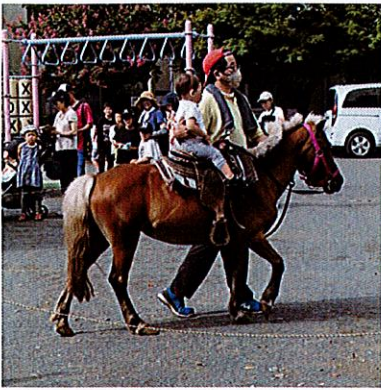
能登半島地震 災害義援金の 取り組み



令和6年1月に発生した能登地方を震源とする地震で被災された方々を支援するため、高津区社会福祉協議会では義援金を受け付けています。

高津第 1地区

夏の「移動動物園」と秋の「歩こう会」



高津第1地区社会福祉協議会は昨年8月16日（水）、第27回「夏休みこどもものつどい」を開催。会場となった溝の口南公園には新作にある「福田牧場」から移動動物園がやってきて、近隣の子どもたちやその保護者など約600人で賑わいました。

また、11月14日（火）には「秋の歩こう会」を開催し、地域の老人クラブの方々など38名が参加しました。

当日は晴天のもと皆さん元気良く2時間ほどのコースをウォーキングしました。

高津第 2地区

子どもの事故予防や心肺蘇生・AEDの実技など 正しい知識を学ぶための幼児安全法短期講習会



高津第2地区青少年福祉部は昨年11月18日（土）、てくのかわさき2階ホールで赤十字救急法指導員2名を招き「幼児安全法短期講習会」を開催し、受講者8名（うち子ども2名）、スタッフ7名の15名が参加しました。

この講習会は、「実際に子どもに事故が起こった時に保護者が慌てないようにどのように動いたら良いのか」を学び、正しい知識を身に着けるために開いたもので、赤十字救急法指導員の方を招き、子どもに起こりやすい事故の予防や手当について、人形を使っての心肺蘇生とAEDの使い方などの実技を習得しました。

※お預かりした義援金は、中央共同募金会を通じて被災県の災害義援金配分委員会により配分基準等を決定し、市町村を通じて被災者の皆様にお届けします。

皆様の暖かいご支援をよろしくお願ひします。

募金箱は区社協事務所にあります（高津区溝口1-6-10 てくのかわさき3階 福祉パルたかつ内）

高津第 3地区

地域の障害のある方を招きクリスマス会



高津第3地区社協では、昨年12月9日（土）、「にこぷら新地」で地域にお住いの障害のある方を招き恒例のクリスマス会を開きました。

この事業は、同会が20年以上続けて開催しているもので、当日は障害のある方やその家族など約30人が歌やゲームを楽しみました。

橋 地区

橋中学で一年生300人が車いすダンス

「中学生と福祉を語る会」で講話や体験も



橋地区社協では、昨年7月13日（木）橋中学で一年生300人を対象に、車イスダンスサークル「アスター」をお招きして「中学生と福祉を語る会」を開きました。

中学生への福祉啓発を目的に開いたこの取り組みでは講演の後、生徒たちは車いす当事者の方々と一緒に、サンバのリズムに合わせてダンスをするなど様々な体験をしていただきました。

みんなで創ろう“地域福祉の輪”

～暖かいご寄付ありがとうございました～

【寄託金】 合計1,045,791円（令和5年1月～12月）

- 奥田英夫様 ●アップコン株式会社様 ●森谷由起子様 ●てくのかわさき様 ●神奈川土建
- 川崎中央支部様 ●川崎国際生田緑地ゴルフ場様 ●セレサ川崎農業協同組合様 ●桜井純恵様
- 津田山フリージャーズ 井ノ口雅子様 ●匿名（15名）

* 社会福祉協議会は、社会福祉法に基づき設置された民間の社会福祉団体です。

町会・町内会・自治会、民生委員児童委員、地域のボランティアの方々、当事者団体、福祉施設などが会員となり、お互いに連携、協力して地域福祉の推進に取り組んでいます。高津区社会福祉協議会窓口で受け付けています。

編集委員

横沢 かつ子 矢島 清美 小柴 博 小林 美和子 栗田 栄治（順不同）

この広報誌は共同募金の分配金で作成されています。